

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人カトリック児童福社会
金ヶ瀬カトリック児童クラブ

令和4年度

金ヶ瀬カトリック児童クラブ事業報告

国の定める放課後児童クラブ運営指針に基づき、十分にゆきとどいた環境のもとに、子どもの健全な育成と遊び及び生活の支援を図る。

定員 40名 現員 23名（令和5年3月31日現在）〈延べ人数 384名〉

開所時間

- ・授業のある日 授業終了後から午後6時45分迄
- ・学校の休業日 午前8時から午後6時45分迄

授業終了後心身共に疲れたり、緊張して帰ってくる子供たちが、5時間以上も生活する場で有ることから、家庭的な雰囲気の中でゆったり・楽しく・安心して過ごせる様な環境づくりや遊具の整備、おやつを提供を心がけるようにしました。今年度は4月に児童クラブの子ども達もコロナウイルス感染者となり、役場の指示でクラブ内で濃厚接触者となった人は登所を控えてもらうなどの措置をとりました。町内の小中学校からの感染者増加の情報が入る度に不安と緊張感をもって運営してきました。又、児童は感染防止のため学校・児童クラブ共にマスクの着用なので、戸外遊びの時だけはマスクを外して大いに気分転換が出来るようにし、室内より戸外活動を多く取入れるよう心掛けました。

今年度は、突然役場からの通知で金ヶ瀬小学校学区の児童クラブが一つに統合され、今まで小学校の空き教室で運営していたクラブが閉鎖となりました。そのことから、保護者への説明など対応に追われ登録児は1年生から3年生までとし37名の登録児、一時預かり児は昨年より大幅に増え46名を受け入れました。夏休み以降中高学年は習い事や授業時間の延長・成長して留守番が出来る様になった事から随時退所となり、年度末には登録児は23名となりました。

生活は今年度も、縦割り活動中心で掃除や当番活動・読み聞かせ会・編み物・造形活動・日本古来の伝統活動を多く取り入れながら、優しい心や愛と感謝の心を育む環境づくりや活動の計画を立てました。又、復活の卵作りや団子差しも楽しみました。心の育ちの面では、「あいさつの心」を大切にしていける子どもになるように職員も子どもも皆で取り組みました。登所・退所時にはみんな大きな声でいえるようになりました。

○保育園のチャリティー夕涼み会・運動会は今年度もコロナウイルス感染予防の為、学童や職員の参加は無かったものの、当日使用した遊具等を借りて楽しく遊びました。

○開所5年目に入り児童クラブの運営や流れも定着してきたものの、コロナウイルス感染予防措置や小学校の授業や行事に左右されてのスケジュールの為、日々の生活も支援員等の勤務体制も大変であると実感しました。

特に小学校は休校でも児童クラブは一日預かりと国が定めている為、支援員は不安と疲れで一杯だったと思います。狭い学童保育室において3密の実現はとても難しい現状です。特に天候が悪い日は外にも出られずストレスが溜まります。先が見えない現状に不安を抱えながら日々消毒・換気に務めました。保護者が集まる会は出来るだけ縮小して書面決済等としました。

令和5年4月1日
金ヶ瀬カトリック児童クラブ